

促成アスパラガスにおける伏せ込み床の目土の厚さが収量・品質に及ぼす影響

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

野菜 - アスパラガス - 作型・栽培型、品質・食味

2 担当者

芳賀紀之・鈴木宏和

3 要旨

促成アスパラガスにおける安定生産技術を確立するため、伏せ込み床の目土(覆土)の厚さが収量・品質に及ぼす影響について検討した。

- (1) 目土(覆土)には穀殼堆肥を用い、目土の厚さとして、5cm、10cm、15cmの区を設けた。その結果、総収量、規格内収量に差は認められず、目土が厚いほど、AM級の収量が減少し、AL規格の収量が増加した(図1)。
- (2) 目土が厚いほど平均地温が高く、土壤の含水率が高い傾向があった(表1)。
- (3) 以上のことから、目土の厚さは、鱗芽付近の環境条件が好適となり、AL規格の収量が多くなる、15cmが適すると考えられた。

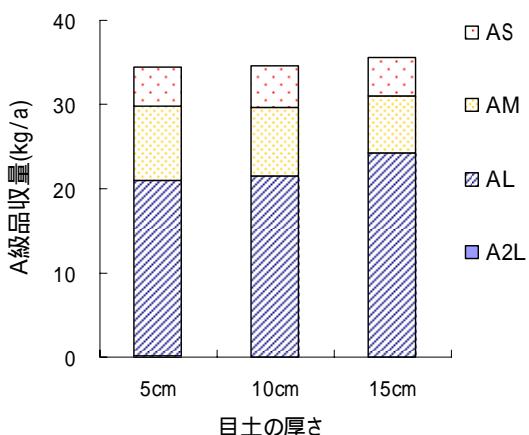


図1 目土の厚さ別の規格別収量(A品)

表1 平均地温と土壤含水率

目土の厚さ	平均地温 ^z ()	土壤含水率(%)	
		2月25日	3月7日
5cm	17.7	14.0	12.2
10cm	18.9	16.4	15.7
15cm	19.4	17.0	17.1

^z地温は、鱗芽付近(5cm、10cm、15cm区)は、それぞれ地表から5cm、10cm、15cmで計測。地温の計測期間は、1月4日～3月5日。

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成19、20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2007、2008)